

シラバス: 文化とコミュニケーションの多様性

1. コース概要

コース名: 文化とコミュニケーションの多様性

科目コード: CDC301

担当教員: ———

- メール: example@hs-univ.edu.jp
- オフィスアワー: 金曜日 14:00-16:00 (事前予約制)

コースの目的: 本コースは、学生が多様な文化やコミュニケーションスタイルについて理解を深めることを目的としています。異文化理解、コミュニケーションの多様性、グローバル化の影響などを学び、異文化間での効果的なコミュニケーションスキルを養います。

2. 学習目標

学習成果:

- 異文化理解の重要性を理解する。
 - 異なる文化におけるコミュニケーションスタイルを分析する。
 - グローバル化が文化とコミュニケーションに与える影響を評価する。
 - 効果的な異文化コミュニケーションスキルを実践する。
 - 多文化共生のための具体的な方法を提案する。
-

3. コース構成

モジュールと単元:

- モジュール1: 異文化理解の基礎
 - 1.1 異文化理解の概念と理論
 - 1.2 異文化トレーニングの手法
- モジュール2: コミュニケーションの多様性
 - 2.1 言語と非言語コミュニケーション
 - 2.2 文化的背景とコミュニケーションスタイル
- モジュール3: グローバル化と文化変容
 - 3.1 グローバル化の歴史と影響
 - 3.2 グローバル化と文化アイデンティティ
- モジュール4: 異文化間コミュニケーションの実践
 - 4.1 異文化間コミュニケーションのケーススタディ

- 4.2 実践的な異文化コミュニケーション演習
- モジュール5: 多文化共生と社会
 - 5.1 多文化共生の理論と実践
 - 5.2 異文化間の紛争解決と協力

学習リソース:

- 教科書:『文化とコミュニケーションの多様性』(著者: ———)
 - 参考書:『異文化理解とコミュニケーション』(著者: ———)
 - オンラインリソース: 国際コミュニケーション協会のウェブサイト、文化研究の論文集
-

4. 授業計画と進行

スケジュール:

- 第1週: コースの導入と異文化理解の概念
- 第2週: 異文化トレーニングの手法
- 第3週: 言語と非言語コミュニケーション
- 第4週: 文化的背景とコミュニケーションスタイル
- 第5週: グローバル化の歴史と影響
- 第6週: グローバル化と文化アイデンティティ
- 第7週: 異文化間コミュニケーションのケーススタディ
- 第8週: 実践的な異文化コミュニケーション演習
- 第9週: 多文化共生の理論と実践
- 第10週: 異文化間の紛争解決と協力
- 第11週: プロジェクト発表とフィードバック

授業内容:

- 各週のテーマ:
 - イン트로ダクションと講義
 - グループディスカッション
 - 関連ビデオクリップの視聴
 - 実践的な演習と課題
-

5. 評価方法

評価基準:

- 試験: 30%(中間試験と期末試験)
- プロジェクト: 40%(グループプロジェクトと個人プロジェクト)
- レポート: 20%(指定されたテーマについてのレポート)
- ディスカッション参加: 10%(グループディスカッションとクラス参加)

具体的な基準:

- 試験: 知識の理解度と応用力
 - プロジェクト: 創造性、実践的な解決策の提案、チームワーク
 - レポート: 論理的な構成、分析の深さ、文献の活用
 - ディスカッション参加: 積極的な参加態度と貢献度
-

6. サポートとフィードバック

学生サポート:

- メンター制度: メンターによる個別指導とサポート
- オフィスアワー: 教員との個別相談(事前予約制)

技術サポート:

- オンラインツールガイド: オンライン学習プラットフォームの利用方法
 - 技術的なトラブルシューティング: 学習管理システム(LMS)のサポート
-

7. 利用上の注意事項

前提条件:

- 必要な前提知識: 基礎的なコミュニケーション理論の知識
- 推奨される前提科目: コミュニケーション学入門、文化人類学

準備事項:

- チェックリスト: 教材の購入、事前の学習、技術的な準備(アカウント作成、ソフトウェアのインストールなど)

学習の進め方:

- 時間管理のヒント: 週ごとの学習計画とタイムマネジメントのアドバイス
-

8. キャリア支援とコミュニティ

就職サポート:

- キャリアカウンセリング: 個別相談と履歴書作成支援
- ネットワーキングイベント: 業界専門家との交流イベント
- インターンシップ機会: 国際機関や多文化交流団体でのインターンシップ紹介

アルムナイネットワーク:

- 卒業生ネットワーク: 活動紹介とメンタリングプログラム

- 定期的なイベント: 卒業生向けのセミナーやワークショップ